

漢字キャラクターあめかちゃん SDGs「海の豊かさを守ろう」を学ぶ講座を開催

コトバノミカタの教育コンテンツ「漢字キャラクターあめかちゃん」が、2021年8月6日にあかし市民図書館で「漢字の研究室」を開催する。魚の漢字の新キャラクター「ウオヘンくん」の物語を通して、SDGsの「海の豊かさを守ろう」に関する学びを子ども達に提供する。



漢字の研究室「あめかちゃんとまほうのさかな」



講座の様子 (2020年2月9日 ソフィアスクールここね宝塚)

教材・文具の企画開発などを手がける株式会社コトバノミカタ (宝塚市 代表取締役 本下瑞穂) は、漢字の部首をキャラクターとした「漢字キャラクターあめかちゃん」を教育コンテンツとして開発。

2021年6月には「自然と共生する世界観を楽しく学ぶ！漢字キャラクターあめかちゃん」として、大阪・関西万博「TEAM EXPO 2025」の共創チャレンジのプロジェクトに認定された。

海にまつわる教育活動に力を入れる兵庫県明石市の「あかし市民図書館」は、毎年夏休みに子ども向けイベント「夏休み応援ラボ」を開催し、様々な学びの機会を無料で提供している。

昨年はコロナの影響でイベントが開催できなかったが、今年は「作文の研究室」「水辺の研究室」など専門家を招き、自由研究に役立つ7つの講座を予定している。その一つとして8月6日に「漢字の研究室 あめかちゃんとまほうのさかな～魚の漢字と旬を学ぼう～」を開催する。

「漢字の研究室」では、本企画オリジナルの魚偏のキャラクター「ウオヘンくん」の物語を通して、魚偏の漢字の成り立ちや、魚の旬、魚の調理方法について紹介を行う。7月2日から募集が始まり、夏休み前に満席となるなど、子ども達の注目度が高い。

また、2020年に社会連携として、コトバノミカタと漢字の偏のキャラクターが活躍するアニメ「あめかちゃんとまほうのせんし」を制作した、武庫川女子大学の学生らも、各キャラクター役として講座に参加予定だ。

コトバノミカタの本下は「漢字 × 魚というユニークな講座を通して、子ども達に漢字文化と海の資源に親しみを持ってもらいたい。かわいい漢字のキャラクターでSDGsの理解促進に貢献できれば」と話す。

日時会場：
2021年8月6日(金) 13:30～15:00 あかし市民図書館 研修室

明石市立図書館
図書館ニュース プレスプラスあ：
<https://www.akashi-lib.jp/pdf/press/news-2107.pdf>

漢字キャラクターあめかちゃん公式サイト：
<https://amekachan.jp>

連絡先：
株式会社コトバノミカタ 代表取締役
本下瑞穂(ほんげみずほ)
住所：
〒665-0003 兵庫県宝塚市湯本町 2-20-103 BASE 宝塚内
URL：<https://kotobanomikata.jp>

メール：mizuho@manabinomikata.sakura.ne.jp



講座のスライドの一部(旬の魚の説明ページ)